



大西 照彦 (おおにし てるひこ)

1959年生まれ 奈良県在住

1988年よりたんぽぽの家で活動始める

2014年よりたんぽぽの家 | 演劇プログラム「HANA PLAY」所属

まるでそのまま食べられそうなフェルト作品。制作する食べ物は「映え」を意識して選ばれ、グルメ番組などで見た美味しそうな料理がモチーフになっている。作品は、日替わりで変わるスタッフとペアを組み、色や大きさなど細かく指示を出しながら制作。共に作る中での発見も多く、創造力が刺激され、様々な「映え」が生み出されている。また、演劇にも情熱を注ぎ、自身の体験を基にした劇で、舞台俳優も行なっている。（撮影：草本利枝）

略歴

グループ展

- 2023年 「Fellow Art Gallery たんぽぽの家演劇チーム『HANA PLAY』展」
(神奈川/アートフォーラムあざみ野 Fellow Art Gallery/演劇)
「おおいた障がい者芸術文化支援センター企画展 vol.5『扉をあける』」
(大分/大分県立美術館 1階 展示室A/演劇)
- 2024年 「work`s story」 (奈良/アートセンターHANAギャラリー)
「work`s story」 (奈良/ならまちセンター 1Fギャラリーinishie)

公演

- 2014年 HANA PLAY | 第0回公演「サンキチの手紙」 (演劇)
- 2015年 HANA PLAY | 第1回公演「裁く3人、通る人々」 (演劇)
- 2016年 HANA PLAY | 第2回公演「記憶の椅子」「戦争と一人の女」 (演劇)
- 2018年 HANA PLAY | 第3回公演「僕が生まれた日」 (奈良/わたぼうしの家 シアターポポ/演劇)
- 2020年 HANA PLAY | 第4回公演「僕が生まれた日」 (大阪/應典院/演劇)
- 2021年 鳥の劇場・日韓共同プロジェクト演劇で編む“共に生きる”リーディング公演「とある村」
(奈良/わたぼうしの家 シアターポポ/演劇)
第5回公演 HANA PLAYx近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻生
ワークインプログレス公演「贅沢な時間」 (奈良/わたぼうしの家 シアターポポ/演劇)
- 2022年 「鹿の劇場 2022 ～出会いの一步～」
HANA PLAY | 第6回公演「わたし、源氏物語、やりたいねん」 (奈良/ならまちセンター/演劇)
- 2024年 HANA PLAY | 第7回公演「わたし、源氏物語、やりたいねん」
(奈良/わたぼうしの家シアターポポ/演劇)